

ボイス+パレルモ 開催結果について(報告) 速報値

【総括】20世紀を代表する作家のひとりであるヨーゼフ・ボイスと、その教え子のプリンキー・パレルモという二人のドイツ人作家を組み合わせた、当館を含む国内三館による独自企画。ドイツ 8 か所の海外借用を含む計 130 点は、ボイスについては 1984 年の来日時の西武美術館での企画に並ぶ規模として、そしてパレルモについてはまとまったかたちで紹介する日本での初めての機会として、両者の活動をそれぞれに多角的に検証し得る十分な点数を揃えた。全 10 章の構成のなかで複数回両者を並置する章を設け、お互いの作品の造形的、思想的な親近性と隔たりとを示す構成とした。そこでの目論見は、「社会彫塑」を掲げ、芸術をあらゆる領域に拡張しようとしたボイスの、ある種固定化された作家像に揺さぶりをかけるとともに、あたらしくパレルモという、抽象的な作品を手掛けた作家を紹介する際の文脈づくりをあわせて行うことであった。会場掲出の章解説のみならず、作品解説と振付家、建築家などによる寄稿を組み合わせたリーフレットを用意するなど鑑賞の補助となるツールを用意したが、コロナ禍により担当者によるギャラリートークや作品ガイドボランティアのツアーなどを行うことができなかった。なお、記録的な写真や資料が充実したカタログ、広報物や会場内のサインの統一感などは高評価を得た。当館のコレクションの主要な核である両作家の展覧会をこの規模で実現できたことは、良質なコレクションを備え、それを足掛かりに企画展を構成していこうとする当館の姿勢を具現する格好の機会となった。

会 期 2021 年 4 月 3 日 (土) ~6 月 20 日 (日) 69 日間
 主 催 豊田市美術館
 共 催 中日新聞社
 会 場 豊田市美術館 展示室 1、5-8

観覧者数 12,539 人 (1 日あたり 181.7 人)

※年間パスポート利用者 1,263 人 (全体の 10.0%)、有料率 89.9%

■同時開催「日本とドイツの現代美術」会場：展示室 2 - 4

まん延防止等重点措置期間
 2021 年 4 月 20 日~5 月 11 日
 緊急事態宣言期間
 2021 年 5 月 12 日~6 月 20 日

関連事業

■オンラインレクチャー：聴講無料、アーカイブ配信なし

①5 月 12 日 (水)

内容：(ヨーゼフ・ボイス 100 回目の誕生日記念) ヨーゼフ・ボイスのユーラシア

講師：渡邊真也

聴講者数：1, 165 回 (オンライン同時配信視聴回数)

■オンラインレクチャーシリーズ：聴講無料、アーカイブ配信なし

①6 月 12 日 (土) 午後 7 時~

内容：中世美術から見たヨーゼフ・ボイス

講師：木俣元一 (美術史、名古屋大学人文学研究科教授)

聴講者数：489 回 (オンライン同時配信視聴回数)

②6 月 13 日 (日) 午後 7 時~

内容：プリンキー・パレルモについて

講師：林道郎 (美術史、美術批評、上智大学国際教養学部教授)

聴講者数：603 回 (オンライン同時配信視聴回数)

③6 月 18 日 (金) 午後 7 時~

内容：ヨーゼフ・ボイスの自己神話化—芸術と政治との間で

講師：水野俊 (慶応義塾大学大学院文学研究科美学美術史学専攻博士課程)

聴講者数：329 回 (オンライン同時配信視聴回数)



ガイドボランティアによる一点トーク

人数を絞り、感染対策を行い実施
1回実施 参加者数 22人 会場：講堂

■ アンケート

調査方法（調査日）：QRコード読み取りによるWEBアンケート（6月12日（金）～6月20日（日））
紙アンケート（6月15（火）～6月20日（日））

調査場所：QRコードをチケット発券時に配布、展覧会鑑賞後の観覧者へ紙アンケートを直接配布

集計枚数：413件（紙アンケート、WEBアンケートの合計）集計中

■ 広報事業実績 108件（有料掲載：19件、無料掲載89件） 以下、掲出画像(一部)

名鉄豊田市駅ポスター掲出 R3.3.25～3.31 中日新聞 広告 R3.3.19



■ 展覧会コンセプトデザートの提供（レストラン「ミュゼ（味遊是）」）

「檸檬 bomb!」

価格：1,000円（税込）

提供期間：4月23日（金）～6月20日（日）まで

売上：234食



■ ボイス+パレルモグッズの販売（ミュージアムショップ）

- ・新作ポストカードの販売
- ・ブリンキー・パレルモにちなんだツートンで構成されたデザイングッズフェア
- ・ヨーゼフ・ボイス、ブリンキー・パレルモ関連書籍を多数販売（画像）

